

# インテリア建材 上吊り3連戸

## 施工要領書

このたびは、弊社の商品をご採用いただきましてありがとうございます。  
商品の組み立ておよび取り付けには、この要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

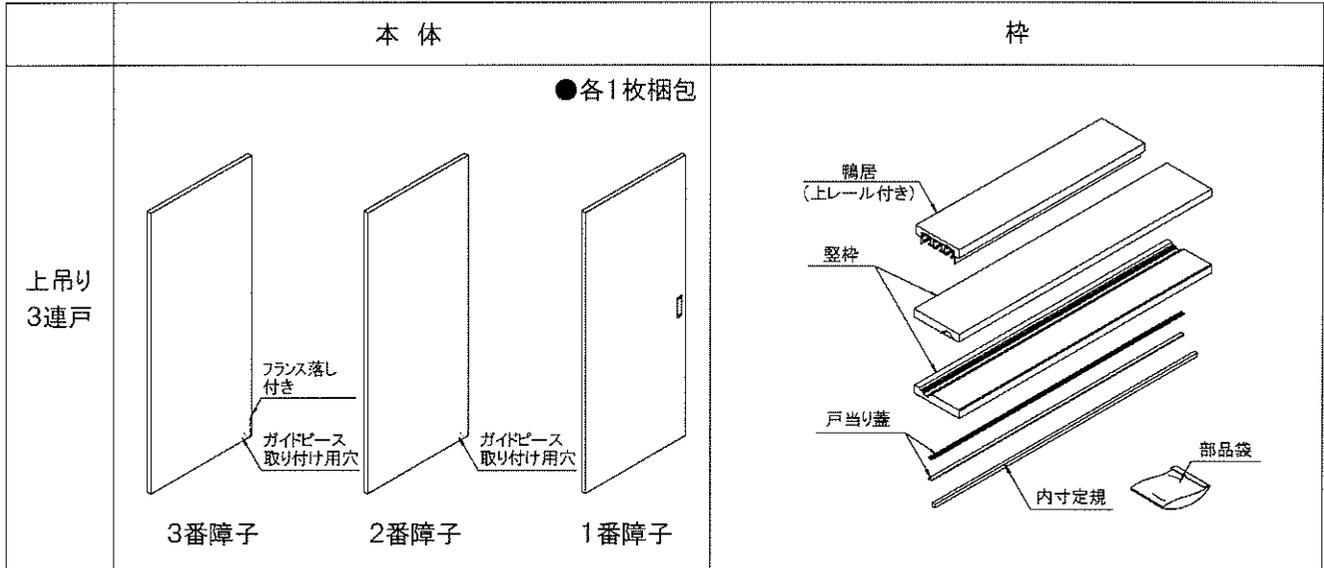
### ① 組み立て・取り付け上の注意事項

ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。  
施工にあたって必ずお守りください。

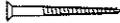
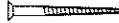
- ・上吊り3連引戸以外への転用および改造は行わないでください。
- ・指定の部品およびオプション品以外は使用しないでください。
- ・ねじ止め・釘打ち箇所は指定してあるねじ釘を全て確実に止めてください。
- ・組み立て、取り付け完了後、正しく作業が行なわれたこと、開閉動作や施解錠が正常に行なうことができることおよび使用上の不具合がないか確認してください。
- ・施錠した状態で枠と本体間等に隙間が生じていないか、ご確認ください。不具合がある場合は確実に建付け調整を実施してください。
- ・引渡前に清掃を行ない、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。
- ・現場で使う接着剤は「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- ・本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付ドライバーの弱で締めてください。締め付けトルクが強すぎると、ねじの頭が破損したり、つぶれたり、ねじが空回りしたりします。

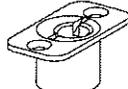
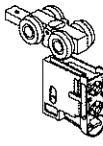
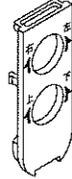
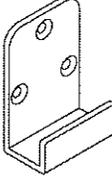
### ② 梱包内容の確認

- ・開梱時に種類と数量を確認してください(部品袋の内容にもご注意ください)。
- ・商品に破損や異常がないか確認してください。
- ・万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には、販売店または弊社までご連絡ください。



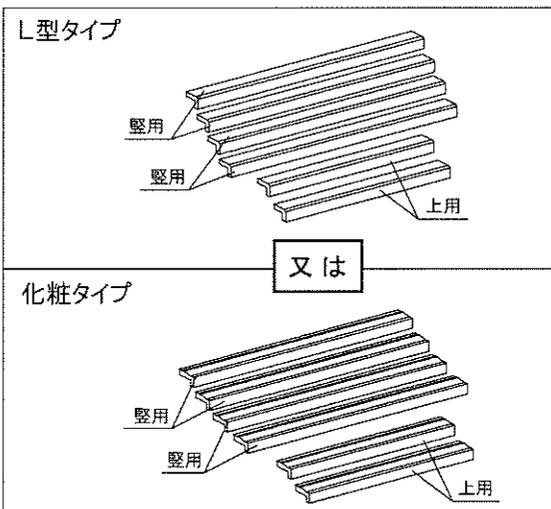
●部品袋詳細

部品		枠組み立て用 木ねじ	躯体取り付け 木ねじA	躯体取り付け 木ねじB	ガイドピース 取り付け用ねじ
タイプ	呼称				
		専用木ねじ 3.8×51×8	木ねじ皿 3.8×51	木ねじ丸 4.1×45×7.6	タッピン1種皿 4×20×7
上吊り 3連戸	1620	4本	10本	7本	6本
	1820			9本	

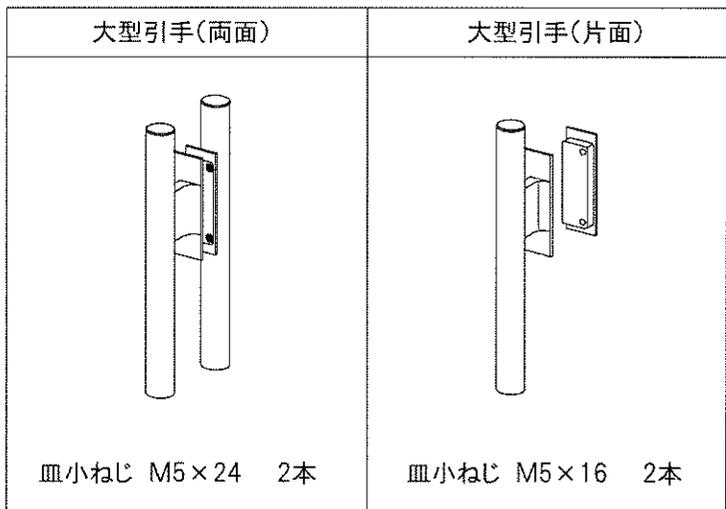
部品		フランス落とし受けツボ 取り付け用木ねじ	吊り車	キャップ	ガイドピース
タイプ	呼称	 			
		木ねじ皿 3.5×13×7 2本			
上吊り 3連戸	1620	1セット	6個	6個	2個
	1820				

部品		施工要領書
タイプ	呼称	
上吊り 3連戸	1620	1冊
	1820	

●オプション ケーシングセット



●オプション 大型引手

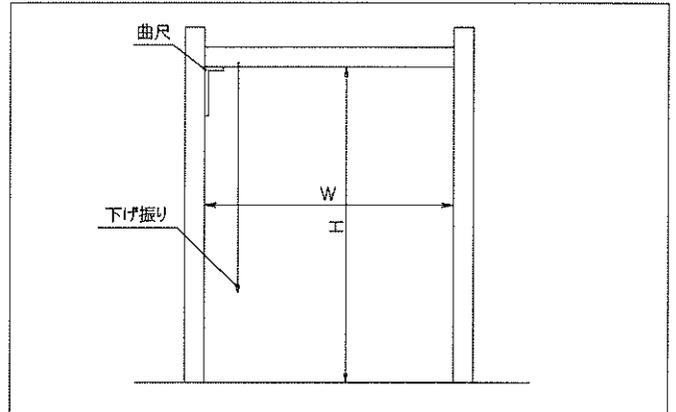


### ③ 開口部の確認

- ①引戸取り付け前に、必ず柱の水平、垂直が出ているか確認してください。
- ②見込みは枠とケーシングの組合せにより幅広く対応できます。  
(ケーシングの足をカットする場合は、一律に丸ノコなどでカットしてください)

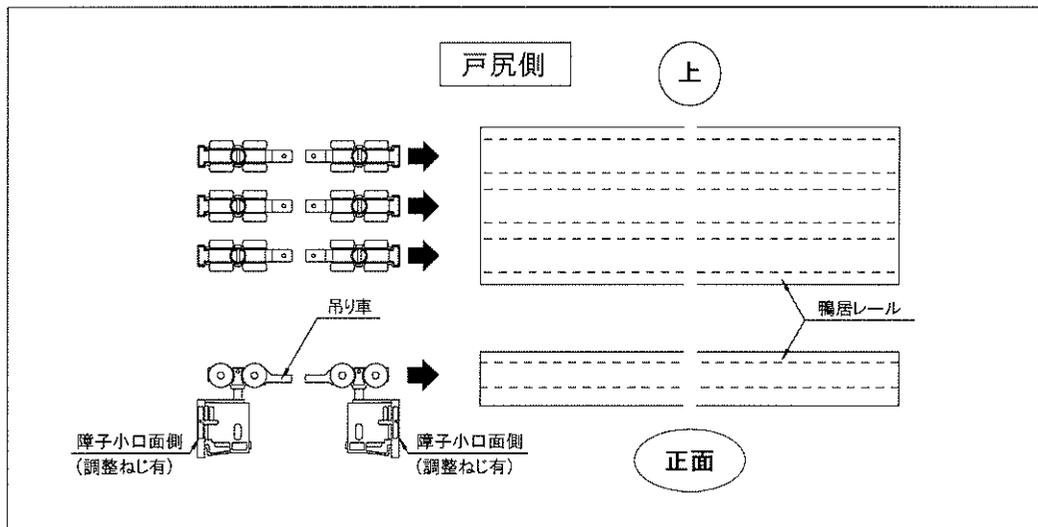
#### ■開口部寸法表

開口部W	枠W+5~10mm
開口部H	枠H+3~5mm 床先張りの場合は 枠H+17~20mm



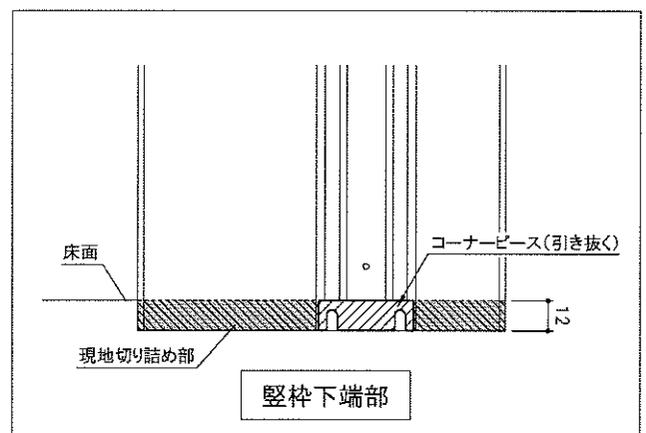
### ④ 枠の組み立て

- ①吊り車を鴨居レールへ入れてください。  
※吊り車には向きがありますので注意してください。

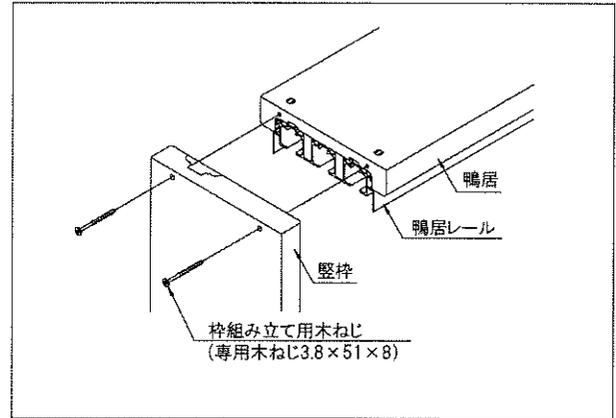


#### ■ 縦枠下端の切り詰め

- 1) 床材施工前に枠を取り付ける場合
  - ・12mm厚の床材使用の場合、縦枠の切り詰めは必要ありません。
  - ・15mm厚の床材使用の場合、縦枠(方立)の下に3mm厚の木端(現地調達)が必要です。
- 2) 床面上に枠を取り付ける場合
  - ・縦枠下端のコーナーピースを引き抜いてください。(引き抜きにくい場合は、マイナスドライバなどを用いてください。外したコーナーピースは使いません。)
  - ・床材厚さに関係なく、縦枠下端を12mm切り詰めてください(右図参照)。



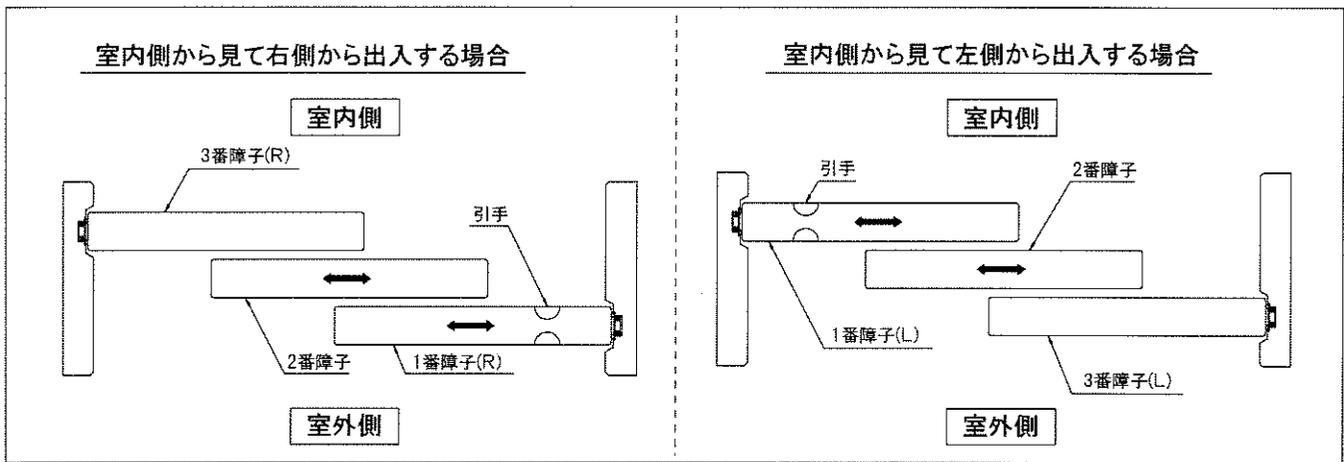
- ・引戸枠すべてに下穴が加工されています。  
鴨居と縦枠を枠組み立て用木ねじ(専用木ねじ3.8×51×8)  
で組み立ててください。



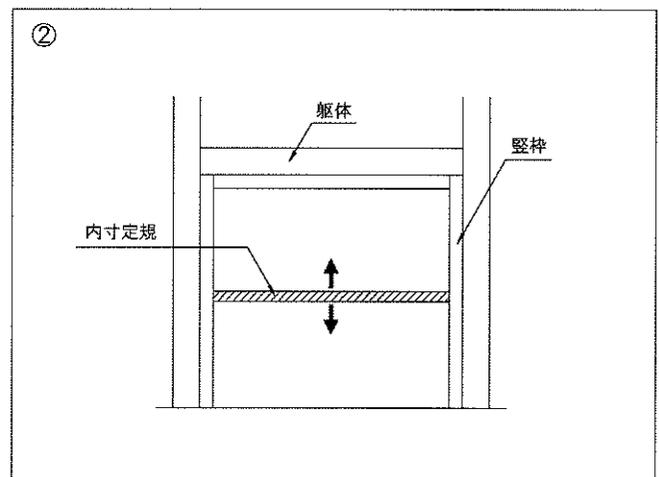
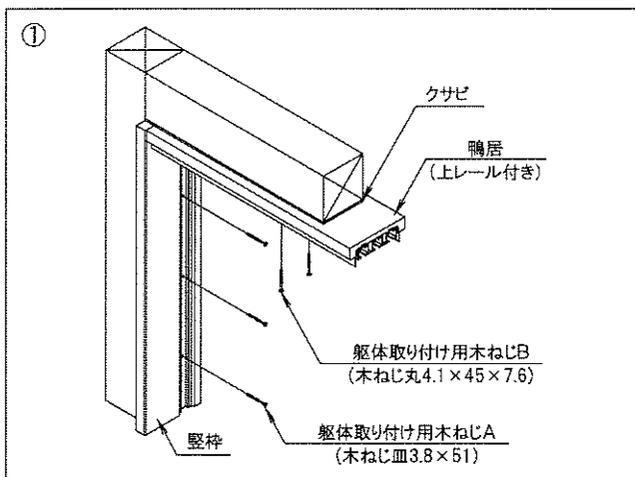
## ⑤ 枠の取り付け

### 枠組み立て前の注意点

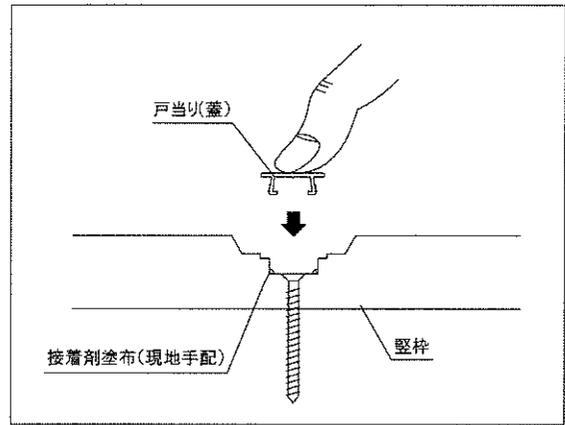
- ・出入りは1番障子側からです。(3番障子は固定)。1番障子を室外側(廊下側)から見て右側に持ってくる場合と、左側に持ってくる場合で枠の取り付け方が異なりますので、ご注意ください。



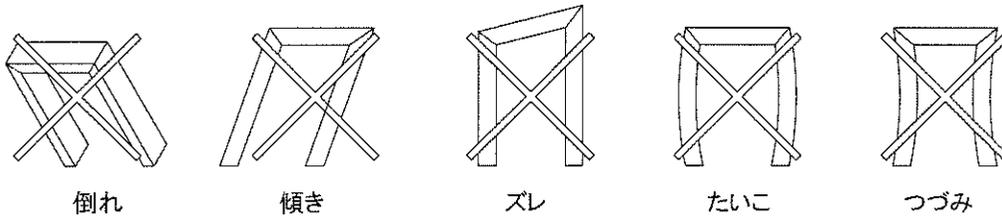
- ①壁を壁面のラフ開口にはめ込み、クサビなどで上下、左右、前後、倒れなどを調整し、位置を決めてください。
- ②鴨居はレール部より躯体取り付け用木ねじB(木ねじ丸4.1×45×7.6)、また、縦枠は戸当り部より躯体取り付け用木ねじA(木ねじ皿3.8×51)で、躯体にしっかりと固定してください。その際、同梱の内寸定規を用いて、開口寸法の確認を行なった後、本固定してください。



- ・堅枠の戸しゃくり溝部に接着剤(現地手配)を塗布し、堅枠の戸当り(蓋)を図のようにはめ込んでください。

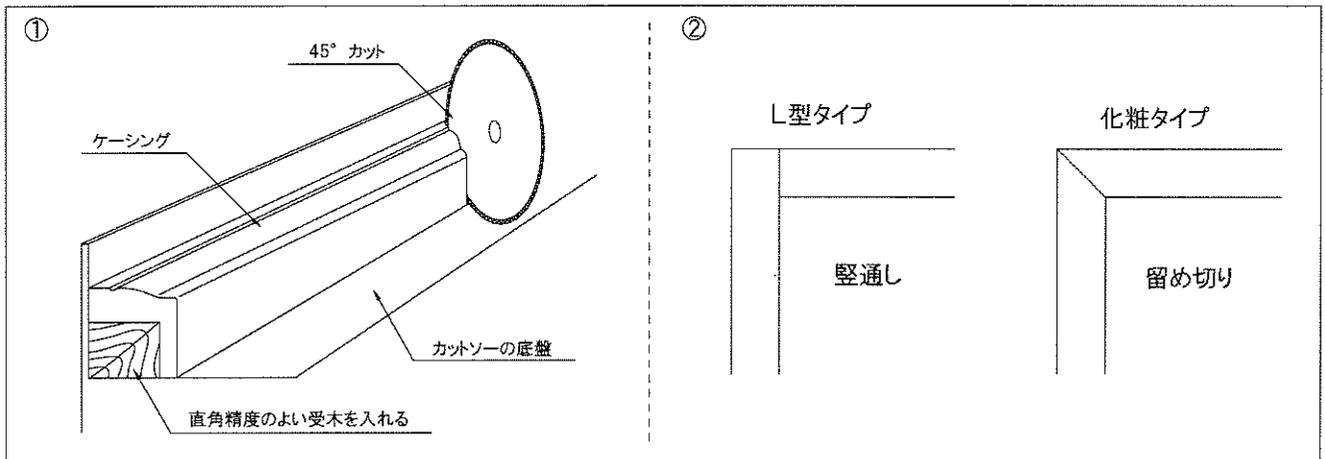


- ※ ①木ねじ止め時、枠に傷をつけないように止めてください。
- ②クサビなどは、左右4個、上下各2個くらいを平均に使用して調整を行なってください。  
木ねじはクサビなどがある場所へねじ止めしてください。
- ③施工後の枠が下図のようにならないよう水平・垂直および開口部寸法の確認をしてください。  
(いずれも±1.5mm以内の施工にてお願いいたします)



## ⑥ ケーシングの切断方法

- ①ケーシング材を現場寸法に合わせてカットしてください。
- ②接合部は下図を参考にL型タイプは堅通し、化粧タイプは留め切りにしてください。  
※留め切りはケーシングの裏側に直角が出ている受け木を入れ、45°斜めカットソーで切断すると精度がでます。  
※ケーシング切断寸法はあらかじめ留め切りにしてある部分を基準にして切断してください。

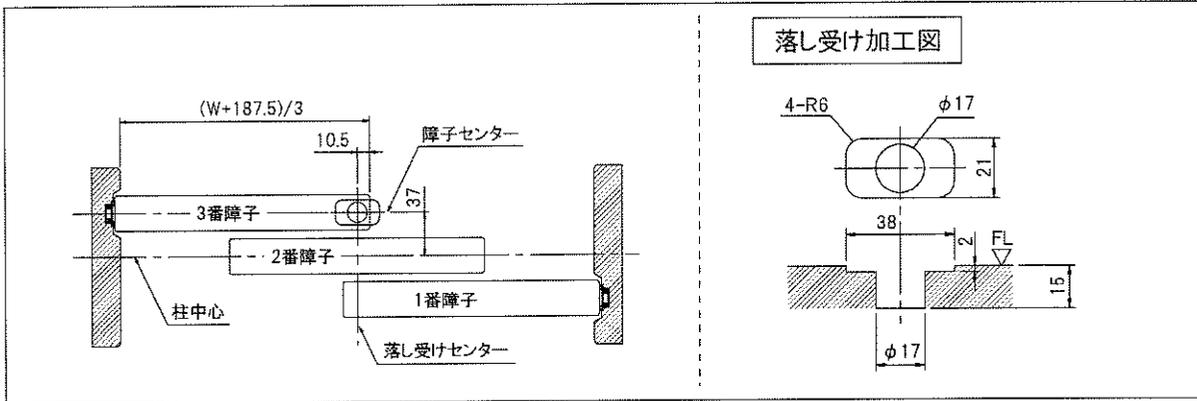


## ⑦ フランス落とし受けの取り付け

- ① 落とし受け取り付けの前に、枠の取り付け向きを確認してください。落とし受けの取り付け位置は3番障子のフランス落しに合わせた位置です。
- ② 床面に調整付きフランス落とし受けの加工が必要になります。図の位置に加工をしてください。
- ③ フランス落とし受けを加工穴にはめ込み、同梱の取り付け用木ねじ(皿3.5×13×7)で取り付けてください。

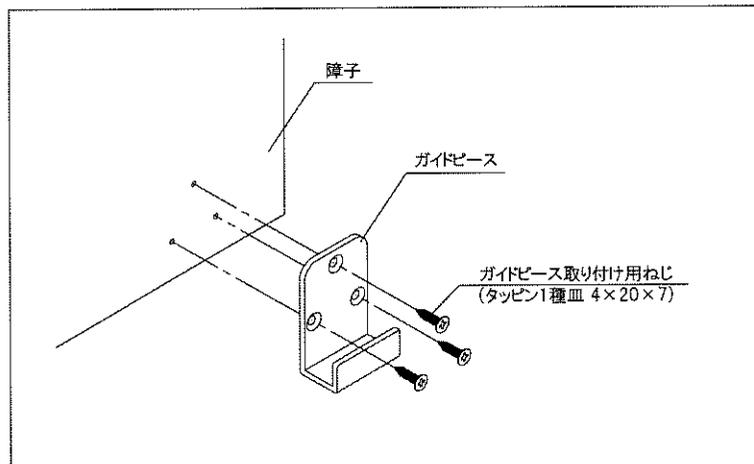
※必ず3番障子を吊り込んだ後に、加工位置を確認してください。

⇒3番障子の吊り込み方法については、**⑨ 障子の吊り込み** を参照してください。



## ⑧ ガイドピースの取り付け

- ・ガイドピースを本体(2番・3番障子のみ)の下部(下穴加工済み)に、ガイドピース取り付け用ねじ(タッピン1種皿4×20×7)で取り付けてください。



## ⑨ 障子の吊り込み

障子の吊り込み順序 3番障子→2番障子→1番障子

- ① 3番レールの下に3番障子を置いて、片側ずつ吊り車を障子に水平に押し込み、カチッと音がするまで押し込んでください(図1・4)。
  - ② 吊り込み後、フランス落し受けに合わせ、落とし棒を下げてください。  
**※フランス落し位置が適切な位置であるかどうか確認し、3番障子を必ず固定してください。**
  - ③ 2番障子をケンドンにて本体上部を上レール下面に付けようとして持ち上げてください(図2)。
  - ④ 2番障子の下部溝を3番障子のガイドピースにはめ込んでください(図3)。
  - ⑤ 2番障子に片側ずつ吊り車を水平に押し込み、カチッと音がするまで押し込んでください(図4)。
  - ⑥ 1番障子も同様に③～⑤の手順で吊り込んでください。
  - ⑦ 各吊り車にキャップをはめ込んでください(図5)。
- ☞** 押し込み後、吊り車を引張って抜けないことを確認してください。  
 押し込みが足りないと、障子が落下するおそれがあります。

図 1

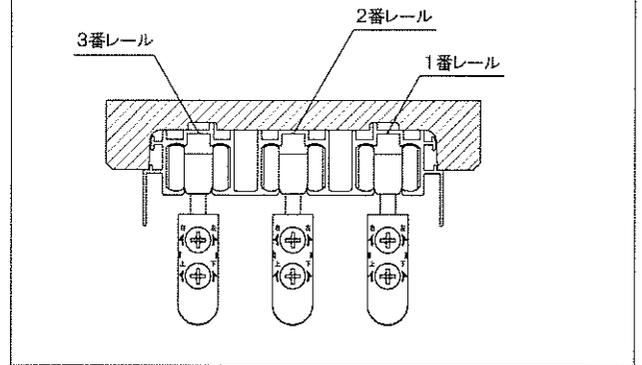


図 2

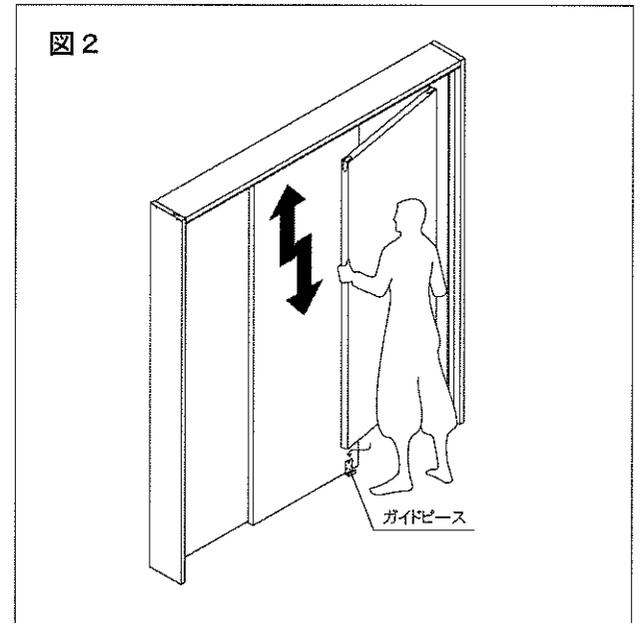


図 3

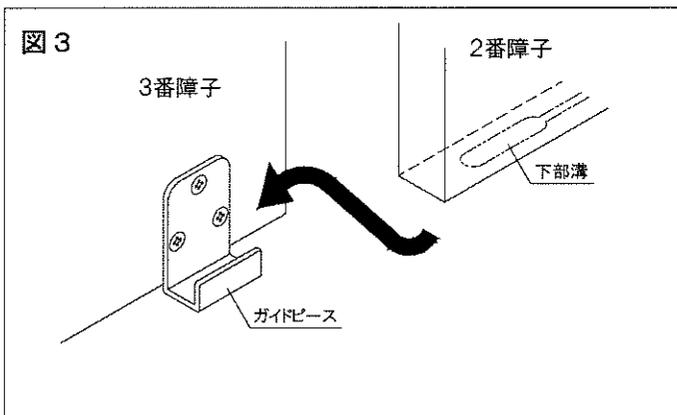


図 4

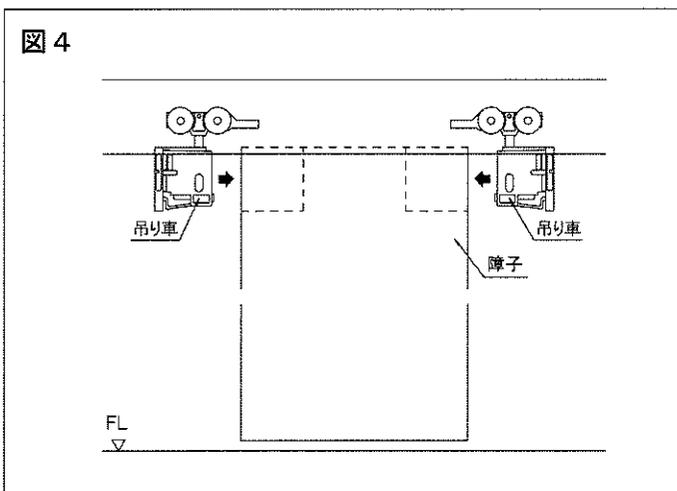
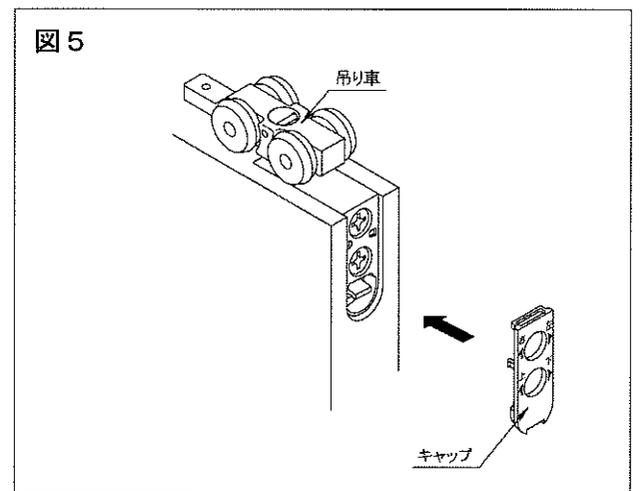


図 5



## ⑩ 障子および枠の建て付け調整

・障子の吊り車には、上下方向及び前後方向の調整機能が付いています。

### 【上下調整: ±2.5mm】

プラスドライバーで吊り車下部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左へ回すと本体が下がります。

※床面と本体下部とのチリは7mmが標準です。

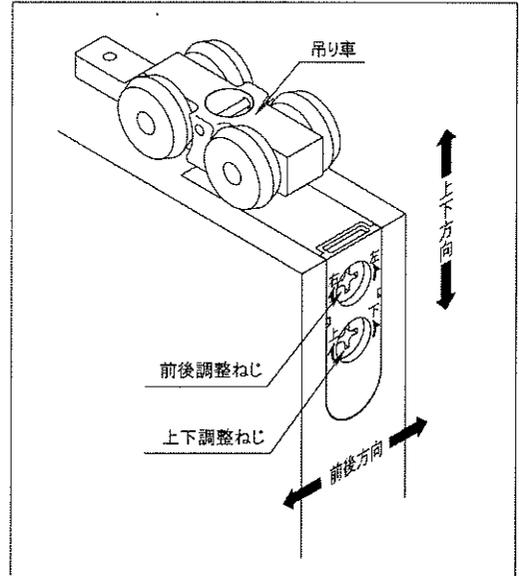
※本体を下げすぎるとレールガイド部と本体が当たりますので下げすぎないでください。

### 【前後調整: ±2mm】

前後調整は壁(無目枠)と本体のチリが大きい(小さい)場合(標準チリ:7mm)に実施してください。

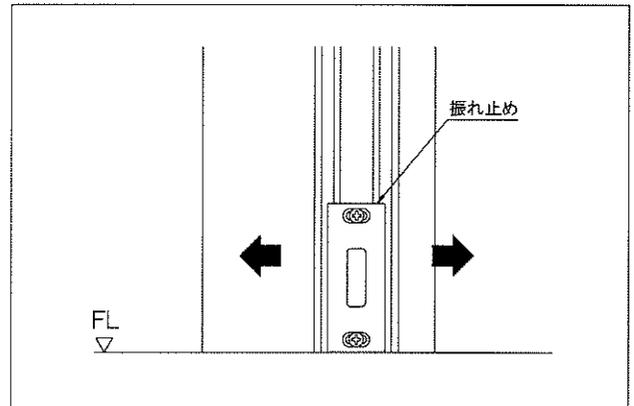
プラスドライバーで吊り車上部の調整ねじを右に回すと左に動き、左に回すと右に動きます。

※前後調整した場合は、本体が常に垂直になるようにレールガイドの調整をしてください。調整しないと開閉操作が重くなる場合があります。



### 戸先側振れ止めの調整方法

・2ヶ所のねじをゆるめ、左右に動かした後、ねじを締めて固定してください。

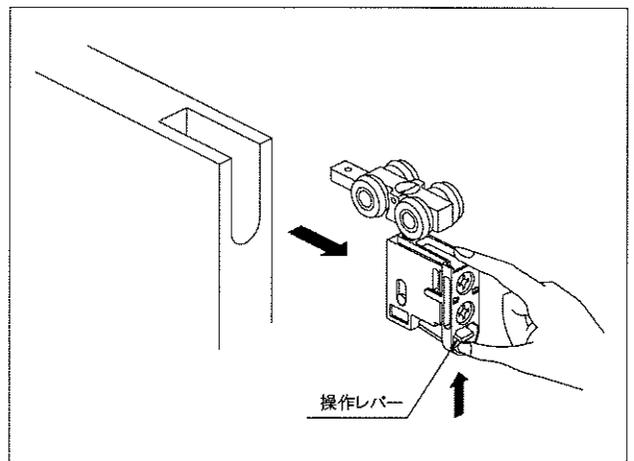


### 本体の取り外し方

①吊り車にはめ込んである、キャップを外してください。

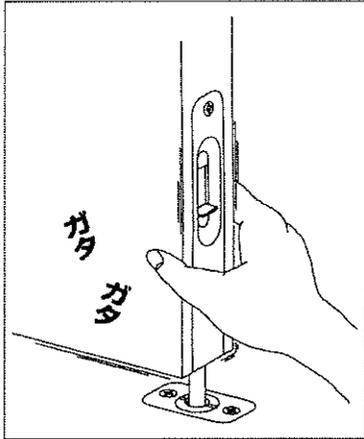
②本体を手で支えてから吊り車の上部と操作レバーを指でつまみ、上に押し上げます。次に吊り車を本体より引き抜き取り外します。

※取り外しがやりにくい場合は、マイナスドライバー等を使用して取り外してください。



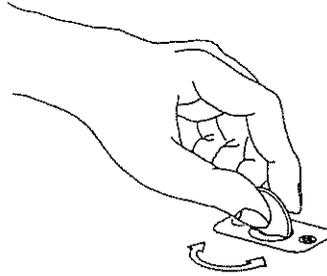
## ⑪ フランス落とし受けの調整

・調整付きフランス落とし受けによる3番障子に「ガタツキ」がある場合の調整方法

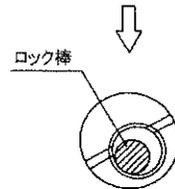
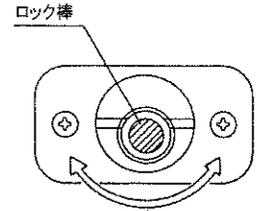


### 3番障子がガタツク

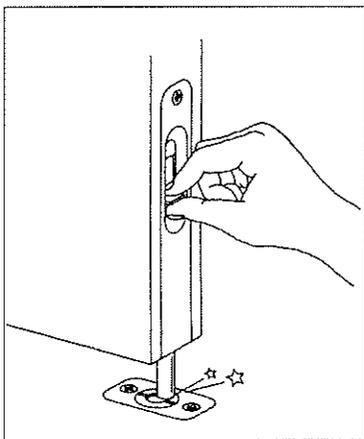
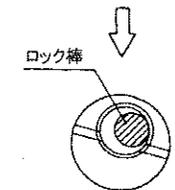
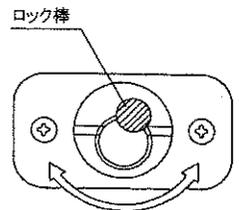
・コインなどで穴部分を回転させ、ロック棒をフランス落とし受けの内側に当てるようにしてください。



### 【フランス落とし受け】

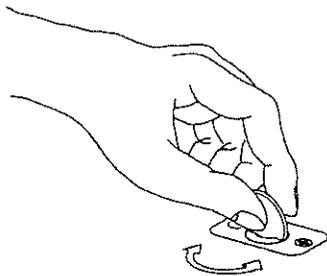


### 【フランス落とし受け】



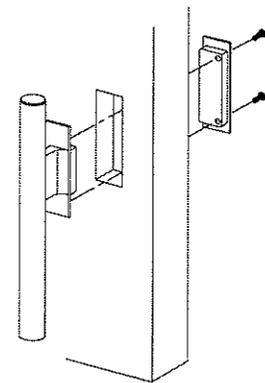
### ロック棒が入らない

・コインなどで穴部分を回転させると、右図のように穴位置が移動します。受け穴部分をロック棒の位置へ合わせてください。

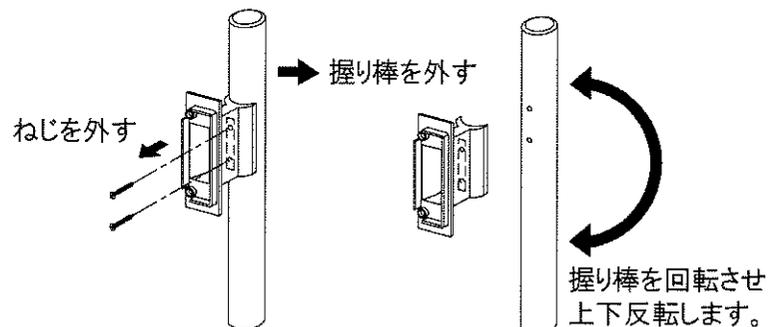


## ⑫ 大型引手の取り付け

- ① 掘込み引手の取り付けねじをはずして、掘込み引手ははずしてください。
- ② 大型引手を取り付け用ねじ(大型引手同梱)にて取り付けてください。



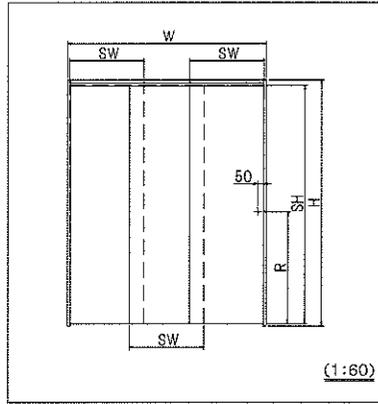
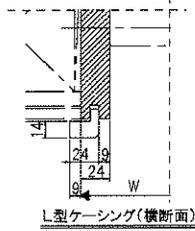
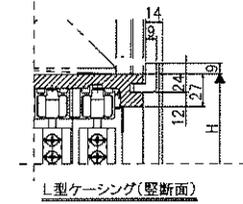
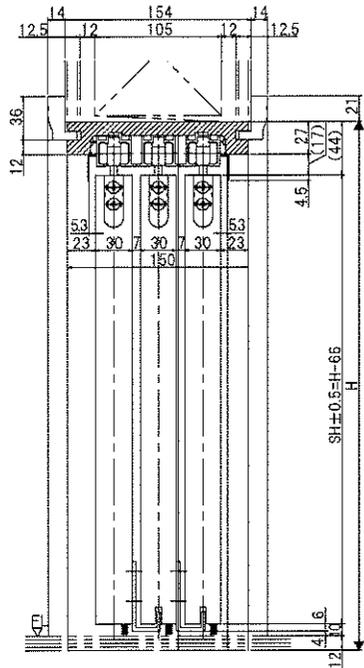
・片面大型引手の場合は取り付け向きに合わせて、にぎり棒の固定ねじをはずし、上下を反転させて引手の勝手を決めて下さい。  
※出荷時は右勝手になっています。



● iS 上吊り3連戸

基本寸法 (mm)	W呼称	16	18
	W	1645	1825
	(SW)	(615)	(675)
	H呼称	20	
	H	2039	
	(SH)	(1973)	

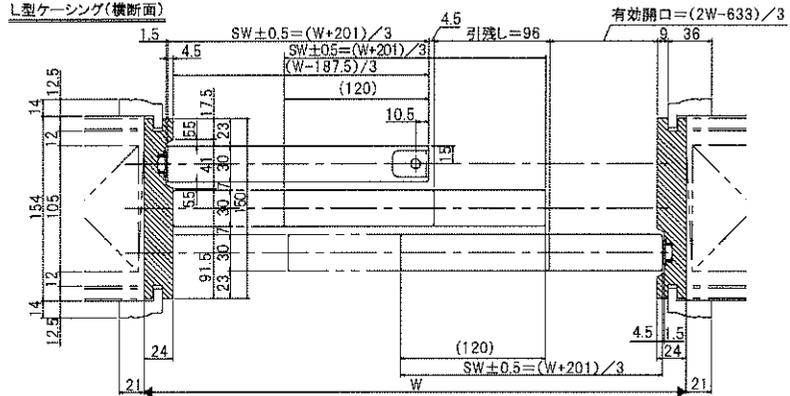
■ 上吊り3連戸 ケーシング枠(厚壁)



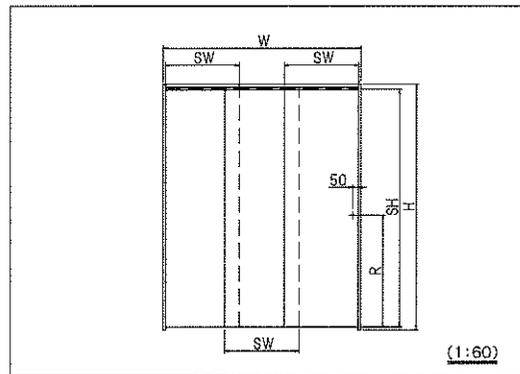
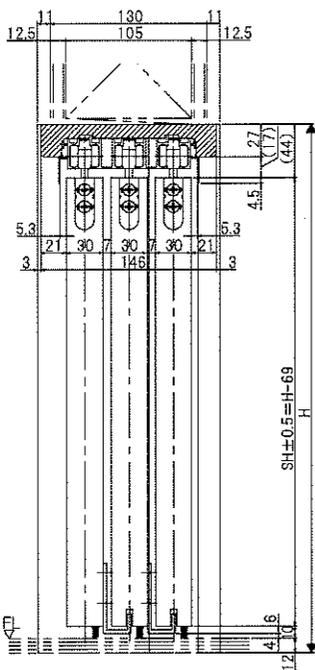
・左右無し。

ケーシング足長さ	対応壁厚 ケーシングかかり寸法
10	151~160 9.5~5
15	161~170 9.5~5
20	171~180 9.5~5
25	181~190 9.5~5
29	191~198 8.5~5

	R
1500 ≤ H	928
1500 > H	H/2-23

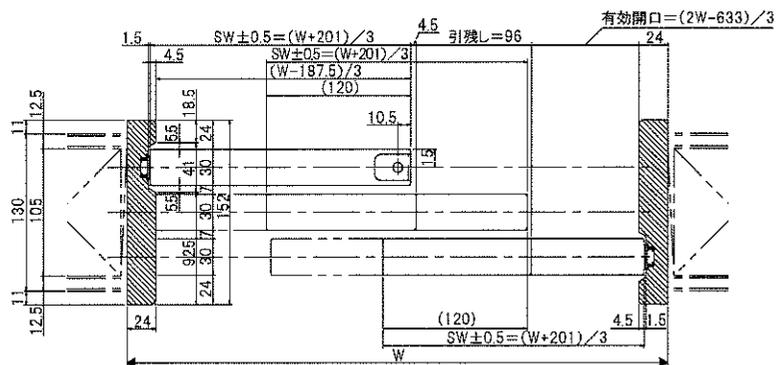


■ 上吊り3連戸 ノンケーシング枠(薄壁)



対応壁厚  
130

	R
1500 ≤ H	928
1500 > H	H/2-23





## 取り付け終了後の確認

■取り付けが完了しましたら、下記の点について確認してください。

取り付けが完了しましたら、本製品が他の現場工事によって破損しないよう梱包資材などを利用して養生しておいてください。

ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、捨てたり燃やしたりせず、回収業者に引き取っていただくようお願いいたします。